

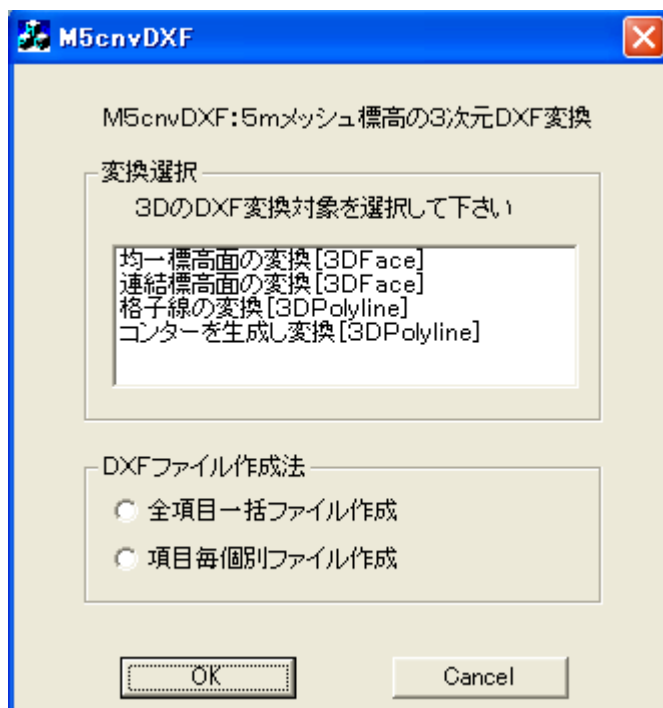
## 基盤地図情報（数値標高モデル）

### 5 m標高のDXF 3D変換

# M5cnvDXF

Windows Xp, Vista, 7

M5cnvDXFは、2次メッシュを区画として3次メッシュ単位に細分された5m標高メッシュのデータから、標高メッシュの格子線、標高点を中心点とする均一標高面、標高点を連結した連結標高面、標高値を任意に与えて生成したコンターについて、3DのDXFファイルを作成するプログラムです。標高メッシュの格子線やコンターは3DPolyline、均一標高面は3DFace、連結標高面は3DFaceまたは3DPolyline（ポリメッシュ）で変換されます。座標値は、平面直角数学座標と変換範囲の左下隅を原点とした格子座標（格子間隔を横、縦で外部から指定できます）で変換できます。基盤地図情報（数値標高モデル）5m標高メッシュも日本全土かなりの地域が整備されています。



### [ M5cnvDXFの適用範囲および基盤地図情報 ]

対象となる地図データは2次メッシュを区画として3次メッシュ単位に細分された5m標高メッシュです。この5m標高メッシュも日本全土かなりの地域が整備されてきました。また5m標高メッシュは、数値地図5mメッシュ（標高）とは異なり、5m四方の中心点標高ではなく、3次メッシュ（経度方向に1/80度、緯度方向に1/120度）を経度方向に225分割、緯度方向に150分割したものです。従って格子間隔は経度方向、緯度方向共に1/18,000度となっています。

平成20年4月から、国土地理院のサイトより「基盤地図情報ダウンロードサービス」が開始されました。

基盤地図情報には白地図つまり都市計画基図と呼称される1:2500デジタルマッピング地形図をベースに作られた基盤地図情報や5m標高メッシュ、10m標高メッシュがあります。M5cnvDXFは5m標高メッシュ、つまり2次メッシュを区画として3次メッシュ単位に細分された5m標高メッシュのデータを使用します。

### [ 動作環境 ] (インストールにCDドライブが必要です)

OS: Windows Xp, Vista, 7  
CPU: Pentium 300MHz以上を推奨  
メモリ: 128MB以上を推奨  
ハードディスク: プログラム本体容量200KB  
ディスプレイ: 1024x768ドット以上を推奨

価格 9,500円 + 税

ムーエス株式会社 〒150-0013  
東京都渋谷区恵比寿2-14-19  
Tel: 03-3446-8456 Fax: 03-3446-8073  
E-mail: info@mues.co.jp  
URL=http://www.mues.co.jp